

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
 5. 横須賀市政記者クラブ
- 令和2年11月27日同時配布



令和2年11月27日
国土技術政策総合研究所

社会の「これから」をつくる研究所『国総研』 講演会開催 ～最新の研究動向・成果をオンラインで講演～

- ・国土交通省国土技術政策総合研究所（国総研）は、住宅・社会資本分野における唯一の国の研究機関です。技術を原動力に、現在そして将来にわたって安全・安心で活力と魅力ある国土と社会の実現を目指します。
- ・今年度で20回目となる国総研講演会は、最新の研究成果を令和3年1月18日から国総研ホームページにて、無料で視聴可能です。（申込不要）

1. 公開日時：令和3年1月18日（月）9時から
2. プログラム：国総研の各研究部・センターから最新の研究動向・成果を講演（詳細は別紙）
3. 視聴方法：令和2年度国総研講演会特設サイトにアクセスしてください。
オンデマンド配信ですので、都合のよい時間に何度でもご覧いただけます。
4. 特設サイト URL：<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/koen2020.html>
5. 単位認定：土木学会継続教育（CPD）認定プログラム
（土木学会へ申請中）
土木学会 CPD 受講証明書の発行方法は、上記4. 特設サイトをご覧くださいませよう、お願いいたします。

（問い合わせ先）

国土技術政策総合研究所 企画部 企画課 課長 尾崎、研究官 大河内・稲見
TEL：029-864-2674 FAX：029-864-1527 E-mail: nil-kouenkai2020@mlit.go.jp

「令和2年度国総研講演会」プログラム

令和3年1月18日（月）9：00～ オンデマンド配信

タイトル / 概要 / 講演者
下水道分野の革新的技術実証「B-DASHプロジェクト」の10年 ――その成果と国総研の果たした役割 本プロジェクトでは、過去10年間に45技術が採択され、産学官の連携による研究開発・実用化の加速や、トップランナー技術として施設性能を底上げするなどの成果を挙げてきた。講演ではこれらの成果と国総研の果たした役割等について紹介する。 岡本 誠一郎 / 下水道研究部長
流域治水に資する研究開発 ～河川研究部の最近の研究より～ 気候変動の影響や社会状況の変化を踏まえ、気候変動を考慮した治水計画とし、これまでの施設による治水を推進するとともに、河川流域のあらゆる関係者が協同で流域全体に行う治水対策を進める状況となってきた。河川研究部では、河川・海岸工学の分野における気候変動適応策に関わる研究を進めてきており、これらは「流域治水」の推進にも役立つものと考えられる。今回の講演においては、河川研究部の最近の研究活動から、流域治水に資する研究開発の概要を紹介するものである。 佐々木 隆 / 河川研究部長
土砂災害分野における災害時の技術支援と最新の研究 今年度発生した土砂災害の概要と技術支援等の状況について報告するとともに、土砂災害研究部の最新の研究である、「土砂・洪水氾濫」、「土砂災害危険度評価システム」、「衛星リモートセンシング」の研究概要について紹介する。 長井 隆幸 / 土砂災害研究部長
路車協調ITSによる自動運転の実現に向けた取組み 国総研では、道路からの情報提供を通じた自動運転の実現に向けて研究を行っている。本講演では、高速道路での合流支援情報提供システムの構築に向けた研究を中心に、自動運転の実現に向けた取組みについて紹介する。 高宮 進 / 道路交通研究部長
道路構造物の悩みごと相談承ります ― 老朽化・被災時の地方自治体支援 ― 道路構造物の法定点検が一巡し、二巡目の点検で新たに増えてきた課題と国総研の役割（地方自治体支援）について講演する。また近年の自然災害による道路構造物の被害調査結果について令和2年7月豪雨の事例を交えて紹介する。 福田 敬大 / 道路構造物研究部長
近年の台風被害を踏まえた建築物の屋根ふき材、小屋組、フロントサッシの耐風対策 平成30年台風第21号や令和元年台風第15号（房総半島台風）が、建築物の屋根ふき材、小屋組、フロントサッシに及ぼした甚大な強風被害と、それを踏まえた耐風対策の考え方、およびその検討状況について紹介する。 福山 洋 / 建築研究部長
住宅・建築物のエネルギー消費性能の向上を目指した研究の動向 住宅・建築物の省エネ化をいっそう促進するためには、設備設計とファサード（外壁・窓等の外皮）設計のバランスが重要となる。空調設備や照明設備等の負荷削減に効果的なファサードの設計法を中心に、住宅・建築物のエネルギー消費性能の向上を目指した研究の動向について紹介する。 長谷川 洋 / 住宅研究部長
都市政策立案のスマート化のための研究 AIを用いた緑視率調査、センシング技術による人流計測、ツイート分析による暑熱環境の把握、市街地火災時の道路の通行可能性シミュレーション等、ICTの活用により都市政策のエビデンスを取得・提示する方策の研究について紹介する。 芭蕉宮 総一郎 / 都市研究部長
沿岸海洋・防災研究部の研究動向について 沿岸海洋・防災研究部においては、頻発化・激甚化する高潮高波災害への対策、気候変動下における海域環境の保全・再生、人口減少社会下における臨海部の空間再編等の課題に取り組んでいる。その一端について概要を紹介する。 上島 顕司 / 沿岸海洋・防災研究部長
港湾分野におけるICT進展・DXに関わる研究動向 港湾分野においても、ICT進展への対応や新型コロナ禍の影響もありDXの推進が喫緊の課題となっている。講演では、船舶の動静に関わるAISデータを用いた研究、港湾ICT施工に関わる研究の動向について紹介する。 渡部 富博 / 港湾研究部長
空港業務支援車両の自動化・省力化に関する研究 今後の生産年齢人口減少の中、空港の旅客受け入れ環境の維持・確保が課題であり、空港運用に関わる人材不足・働き方改革を見据え、空港業務支援車両・除雪車両等の自動化・省力化の導入に向けた研究の状況について紹介する。 高野 誠紀 / 空港研究部長
社会資本マネジメントにおけるデジタルデータの活用 インフラ分野において、DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組が進められている。その取組の基盤となるデジタルデータに関して、BIM/CIMの推進、建設現場でのデータ取得、インフラデータプラットフォームなどの取組を紹介する。 清水 晃 / 社会資本マネジメント研究センター長